

2014年4月号

4月15日(火)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 **温根内通信** No. 211



白から茶色へ…

4月4日の大雨で、湿原の色は白から茶色へ一気に変化しました。そして茶色の世界ではほんの少しずつ変化が起きています。静かだった湿原には鳥たちのさえずりが聞こえ始め、冬眠から目覚めたエゾアカガエルの声も聞こえます。見上げると北への長い旅の途中で通りかかったオオハクチョウが編隊飛行をしています。本格的な春はもうすぐそこです。

～温根内ビジターセンター 木道周辺の自然情報～



【アキタブキ(フキノトウ)】
 キク科 秋田蓴
 鶴居軌道跡に本格的に芽吹いてきました。花をよく見ると雄株と雌株があり、雄花は花粉を飛ばすとやがて枯れてしまいます。



【フクジュソウ】
 キンボウゲ科 福寿草
 雪解けの斜面に中に黄色い花が咲くと春が来たのを実感します。ビジターセンター裏の森の斜面で咲いています。



【ハノンキ】
 カバノキ科 榛
 先月の写真と変わらないように見えますが、これでも花が咲いています。雄花を指で弾くと黄色い花粉が飛ぶのが良く見えます(花粉症の方は注意)。



【タヌキモの越冬芽】
 タヌキモ科 狸藻
 水の解けた湿原の中には1cmほどの緑の玉がたくさん浮いています。やがて玉がほぐれてふさふさのタヌキモの葉になります。



【バイケイソウの芽吹き】
 ユリ科 梅蕙草
 鶴居軌道跡の湧水地付近で芽吹き始めました。大きな葉と目立つ葉脈で目を引きます。初夏に2cm程の緑色の花を多数咲かせます。



【エゾアカガエル】
 アカガエル科 蝦夷赤蛙
 今年の初鳴きは暖かい日の続いた3月29日でした。今は湿原の中で「キャララ、キャララ」と甲高い声でオスがメスを呼んでいます。

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

○表紙の写真 上:オオハクチョウ 中右:雌阿寒岳 中左:フクジュソウ 下:やちぼうず

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

4月に入り、シジュウカラ、ハシブトガラなどのカラ類がしきりにさえずり、キツツキのドラミングが聞こえ始め、とてもにぎやかです。夏鳥も少しずつ見え始めました。これから6月中旬までは絶好のバードウォッチングシーズンです。



【オオハクチョウ】

カモ科 大白鳥

北へ帰る途中で釧路湿原に立ち寄る旅鳥です。木道上空を「フォフォォー」と鳴きながら群れて飛んでいます。



【カシラダカ】

ホオジロ科 頭高

北へ帰る途中でこの周辺に立ち寄る旅鳥です。後頭部の冠羽が特徴で、鶴居軌道跡で10羽ほどの群れを見かけます。



【ノビタキ】

ヒタキ科 野鶺

温根内で最もポピュラーな夏鳥の一種です。オスが早々と湿原にやってきて営巣地を探しています。きれいなさえずりは間もなく聞かれます。



【タンチョウ】

ツル科 丹頂

冬の給餌が終わると繁殖地の湿原へ帰ります。温根内周辺でも今年の繁殖場所をどこにするのか探し回っているようです。

○温根内木道で観察された鳥（3月15日～4月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■マガモ■アオサギ■タンチョウ■トビ■オジロフシ■チュウヒ■オオタカ■ノスリ■コゲラ■アカゲラ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ワタリガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒバリ（4/9 初認）■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■ツグミ■ノビタキ（4/11 初認）■ハクセキレイ（4/9 初認）■カワラヒワ（4/9 初認）■ベニマシコ（4/9 初認）■シメ■カシラダカ■アオジ（4/11 初認）■オオジュリン（4/2 初認）

特定外来生物アメリカミンクにご注意を！

日に日にあたたかくなってきた温根内木道周辺では、特定外来生物のアメリカミンクが活発に活動を始めました。好奇心が旺盛なので近づいても逃げない場合があります。噛まれて怪我をしたり感染症や寄生虫を媒介する可能性がありますので、決して触らないでください。また、野生動物には絶対に餌をあげないでください。

【アメリカミンク】イタチ科 北米原産 籠脱け等が野生化し繁殖



☆☆☆自然ふれあい行事「早春の湿原ハイク」が開催されました☆☆☆



4月13日（日）、釧路湿原パークボランティアの若山氏の案内で、早春の湿原ハイクが開催されました。

ようやく雪が解けた湿原にはよく見ると目立たない春の気配がたくさん見えてきます。楽しいクイズとビンゴゲームをしながら温根内木道の春を探しました。

「今の気温は何度？」という第一問目から始まり、目立たないハンノキの花や水に浮いているドクゼリの根茎やタヌキモの越冬芽などを観察しながら早春の湿原を観察しました。

難問珍問が続いたクイズも「春の息吹を感じられましたか？」という最後の問題で締めくくり、参加した方々も楽しみながら湿原の春を満喫した様子でした。参加者：18名

☆☆☆☆自然ふれあい行事 平成 26 年度の予定☆☆☆☆

5月

○春の湿原ハイク
11日(日) 10:00～12:00 定員15名
ようやく春が訪れた温根内木道で、咲き始めた春の花をじっくりと観察しましょう。



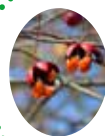
○湿原の夏鳥ウォッチング
25日(日) 9:00～11:00 定員15名
温根内は繁殖期を迎えた鳥たちで大賑わいです。何種類の鳥を見つけられるでしょうか？

9月

○初秋の湿原花ハイク
7日(日) 10:00～12:00 定員15名
まもなく花の季節が終わりを迎えます。華やかな秋の花で今年の花の季節を締めくくりましょう。

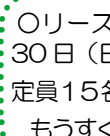


10月



○秋の湿原ハイク
19日(日) 10:00～12:00 定員15名
花が見えなくなったこの時期、秋ならではの湿原の楽しみ方を見つけましょう。

11月



○リースを作ろう
30日(日) 13:00～15:00
定員15名 参加費500円(材料費)
もうすぐクリスマス。自然の素材でリースを作りましょう。



12月

○初冬の湿原ハイク
7日(日) 10:00～12:00 定員15名
初冬の湿原で動植物の様々な越冬作戦などを観察します。

1月

○厳冬の湿原ハイク
18日(日) 10:00～12:00
厳冬期の湿原で、動物の痕跡などを観察します。



2月

○歩くスキーで湿原ハイク(釧路市立博物館共催)
8日(日) 10:00～12:00
博物館の学芸員と一緒に、冬の湿原観察を楽しみましょう。

3月

○春を待つ湿原ハイク
15日(日) 10:00～12:00
何も無いように見える残雪の湿原で、春の兆しを探します。



6月

○春の湿原花ハイク
8日(日) 10:00～12:00 定員15名
ようやく花のシーズンが到来しました。春を代表する花を観察しましょう。



7月

○初夏の湿原花ハイク
6日(日) 10:00～12:00 定員15名
湿原は本格的な花の季節です。花を観察しながら湿原の植物の不思議な生態を覗いてみましょう。



○ホタルウィーク
23日(水)～27日(日) 19:00～20:30
釧路湿原に棲むヘイケボタル。その不思議な生態と観察の仕方を学んでから夜の湿原へと出かけます。定員はありません。

8月

○夏の湿原花ハイク
3日(日) 10:00～12:00 定員15名
盛夏の釧路湿原の花々をじっくりと観察します。熱中症対策を忘れずに行いましょう。



○ザリガニウォッチング
17日(日) 10:00～12:00 定員15名
特定外来生物のウチダザリガニを捕獲し、外来種の脅威について楽しみながら学びます。

★開館時間が変わりました★

4月1日より開館時間が変更になりました。10月31日までの間は

10:00 開館
17:00 閉館

となりますので、来館を予定されている方はお間違えの無いようよろしくお願いいたします。

月刊 温根内通信 No.211

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kk946/>

開館時間: 10:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料